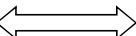


改革工程表2(年度別計画)

団体名	鹿島共同再資源化センター(株)	所管部局課名	県民生活環境部資源循環推進課
-----	-----------------	--------	----------------

取り組むべき項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<p>安定的な経営体制の確立・施設維持管理の適正実施</p> <p>1 廃棄物処理量の維持</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[52,472t]</p>	<p>[49,764t]</p>	<p>【28,000t】</p>
<p>2 経常利益の黒字化、損失の抑制</p> <p>・令和4年度までは、老朽化による突発故障を防止することで受入量を確保し、収益の改善を目標とした。</p> <p>・令和5年度は、令和5年11月に事業停止予定であることから、収入(廃棄物処理量)が減少するため、損失の抑制が必要。</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>【経常利益 26,212千円】 【繰越損失 2,137,665千円】</p>	<p>【経常損失 238,904千円】 【繰越損失 2,377,573千円】</p>	<p>【損失の抑制】</p>
<p>3 法人の今後のあり方の検討</p> <p>鹿島地方事務組合の新ごみ処理施設が、令和6年4月に稼働予定であること等を踏まえ、当法人は、令和5年11月末日に事業停止することを決定した。施設の処分等、今後のあり方や、法人の解散・清算の時期等について、検討する必要がある。</p> <p>【令和5年3月末 資本金 3,308,000千円】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【「当法人と主要株主との間で協議を重ねていく」との方針を決定】</p>	<p>【令和4年度に協議を重ねた結果、令和5年5月に「令和5年11月末日に事業停止し、解散・清算について、当法人と主要株主との間で協議を重ねていく」との方針を決定】</p>	
<p>4 進行管理結果の公表</p>	<p>毎年度の進行管理結果を県議会に報告するとともに、県ホームページ等で公表</p> <p>【R3. 6月 県議会報告】 【R3. 6月 県ホームページ公表】</p>	<p>【R4. 6月 県議会報告】 【R4. 6月 県ホームページ公表】</p>	

※注  は改革期間及び推進事項を表示。[]は目標達成状況、【 】は修正後の目標を表示